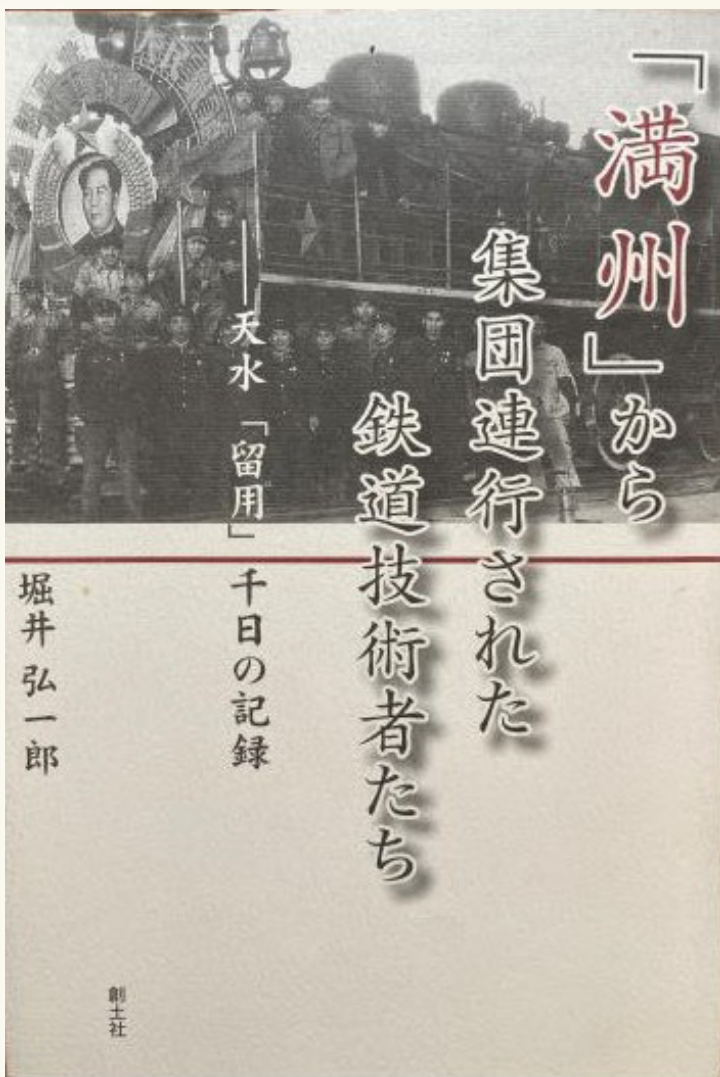




「留用」が問う
戦後日中関係史の空白
旧「満洲」・台湾・関内各地の状況を俯瞰して
TAS（華人研）第174回（新宅久夫氏・2025年1月）の旧満州に
おける「留用」体験報告に続いて今回は堀井弘一郎氏より台湾、関内各
地まで視野を広げて、敗戦から始まった「留用」についての学術的報告
と解説を試みていただきます。第187回（小宮紀元氏・2026年5
月予定）の「家族の留用」「遼寧大学卒業」「クラレビニロンプラントLT
貿易従事」の体験報告に繋がります。



元日本大学非常勤講師
堀井 弘一郎 氏
ほりい こういちろう

略歴▶

1952年生まれ。1976年京都大学法学部卒業。2009年日本大学大学院総合社会情報専攻博士後期課程修了。博士（総合社会文化）。都立高校教諭、日本大学等で非常勤講師等を歴任。専門は中国近現代史・日中関係史。現在は、朝日カルチャーセンター（横浜）の世界史講座の講師等。

話題提供者

2025.10.11

14:00-16:00 土

著書・共著▶

『『満州』から集團連行された鉄道技術者たち（創土社）

戦時上海グレーゾーン（アジア遊学 205） 勉誠出版

上海の戦後一人びとの模索・越境・記憶（アジア遊学236） 勉誠出版

■ 会場

大阪市立総合生涯学習センター（大阪駅前第2ビル 5階）
第5研修室
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500
大阪駅前第2ビル5階 ☎ 06-6345-5000（代表）

■ 申込方法

受付事務局までメールでご連絡ください

✉ sec@kajinken.jp

■ 参加費

一般 2,000円 / 学生 500円

■ 定員 **36名**

